

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習Ⅱ	高山 有紀	1 年次	秋

授業のキーワード	日本社会の歴史と教育 「学び」の意義
授業の概要	「学び」とはどのようなことなのか、を考えていきます。様々な学びの形態とその歴史の変遷を概観し、社会的「学び」の中から生じてきた問題について言及します。
期待される学習成果（目標）	①情報を集め、自分なりに取捨選択する力を身につけることができます。 ②調べたことを文章にまとめ、発表する力を身につけることができます。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。	第9講	報告	集めた情報をもとに簡単なレポートを作成します。ゼミ内で簡単な報告の場も設けます。
第2講	資料輪読①	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。	第10講	報告	集めた情報をもとに簡単なレポートを作成します。ゼミ内で簡単な報告の場も設けます。
第3講	資料輪読②	「学び」や教育史に関わる文献を部分的に輪読します。	第11講	資料輪読④	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
第4講	資料輪読③	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。	第12講	資料輪読⑤	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
第5講	テーマの設定	何らかの問題意識を持って自分なりのテーマを設定し、意見交換を行います。	第13講	資料輪読⑥	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
第6講	情報収集①	それぞれのテーマに応じ、発表に必要な情報をどのようにして収集するのか、実践練習を行います。	第14講	テーマの設定	期末のレポートに向けてテーマを設定します。
第7講	情報収集②	それぞれのテーマに応じ、発表に必要な情報をどのようにして収集するのか、実践練習を行います。	第15講	まとめ	本講での学習内容を総括します。
第8講	情報収集③	それぞれのテーマに応じ、発表に必要な情報をどのようにして収集するのか、実践練習を行います。	定期試験		本講で学んだことをふまえ、レポートを作成してもらいます。
評価方法		授業への取り組み40パーセント、課題に対する評価60パーセント			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			辻本雅史『「学び」の復権 一模放と習熟一』（岩波現代文庫） 小山静子監修『子ども・家族と教育』（論集現代日本の教育史4） 日本図書センター 海後宗臣・仲新・寺崎昌男『教科書でみる近現代日本の教育』東京書籍		